

2024年12月1日 【清真学園 校長室だより】 部活動の活躍

師走です。この「校長室だより」も書き始めて1年になります。月始めに一度だけではありませんが、自らの思いを文章にして皆様にお伝えすることで、現在の教育を取り巻く社会の様々な変化や清真学園のあるべき姿などについて自分なりに整理する、とても良い機会になっていると感じています。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

さて、清真学園では、毎日職員朝会があります。その連絡の中で、各種大会等で優れた成績を修めた部活動の顧問から、結果の報告を受けることがあります。個人的な感覚ではありますが、今年は例年にも増してその場面が多いような気がしており、それは当然ながら、各部の部員達が良く努力をしている、その結果です。

そんな中、先日、演劇部から吉報が届きました、11月16日17日に開催された茨城県高等学校演劇祭で見事に優秀賞に輝き、久しぶりに関東大会へ駒を進めるという快挙です。私自身、長く茨城県高等学校文化連盟副会長として様々な文化部を見てきたことから、このことがどれほど大変で価値があることかは分かっているつもりです。そのため、今回のすばらしい結果を、自分のことのように嬉しく感じています。これまでの日々の地道な積み重ねが今回の結果につながったであろうことを思い、改めて「おめでとう」と申し上げ、来年1月の横浜での関東大会でも、悔いの残らない精一杯の舞台を期待しています。もちろん私も、現地でしっかりと見届けるつもりです。

改めて学習指導要領の総則を確認してみると、部活動については以下のように示されています。

「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。」

もちろん部活動に参加するかどうかは一人ひとりの生徒の自由な意志ですが、人として成長が期待できる場面をたくさん内包している活動として、これからも大切にしていきたいと思います。